

都留第二中学校

ISSプロジェクトチームの取り組み

ISSって何？

ISS インターナショナルセーフスクール

どんなことするの？

何を目指すの？

ISSって何？

- ISSとはインターナショナル・セーフ・スクールの略。
- **生徒自身が学校の安全・安心を守る取り組み**をして世界基準を満たしている場合に国際的組織から安全・安心に取り組んでいる学校として認定する制度のことです。

ISSメンバー募集

ISSとはインターナショナル・セーフ・スクールの略。生徒自身が学校の安全・安心を守る取り組みをして世界基準を満たしている場合に国際的組織から安全・安心に取り組んでいる学校として認定する制度のことです。

～ 君も、あなたも、一緒に二中の安全・安心を守ってませんか？ ～
知っていますか？この数字

506件

昨年度、約220日の登校日数中に保健室で手当を受けたケガの発出件数です。

なんと、1日2～3件。ケガによって痛い思いをしている仲間がいるのです！

さらに、全校生徒約300人です。全員が学校生活の中で1～2回、何らかのケガをしているということです。



私たちの都立二中では本年度から2年計画で**世界基準の安全・安心な学校づくり**に取り組んでいくことになりました。あなたもケガや心身の不調の原因を調べて取り除いて安全・安心な学校づくりに参加してませんか？

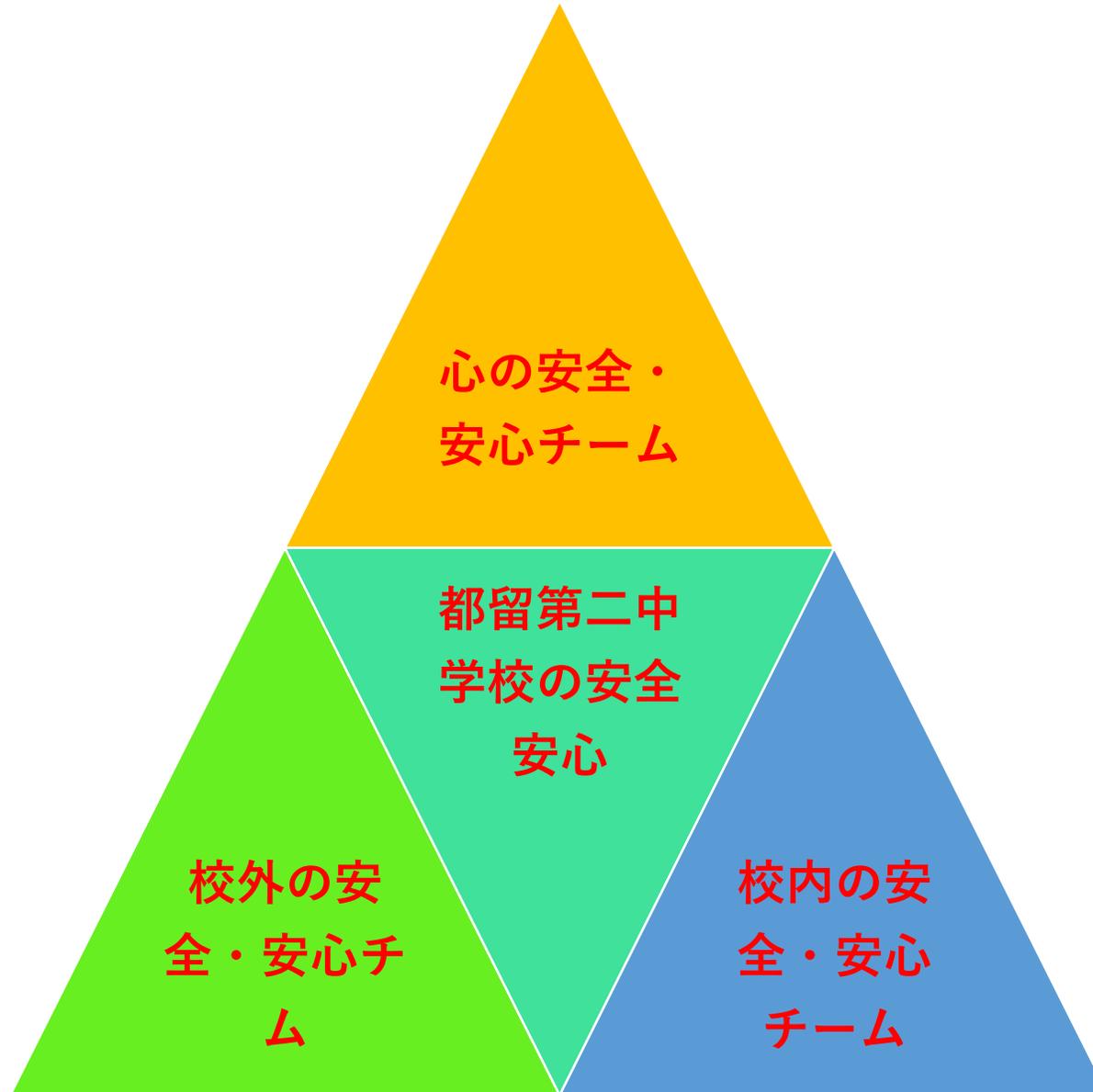
「世界基準に挑戦しよう」「仲間・自分自身の安全を守る」という気持ちのある人に集まってもらい、けが・心身の不調の原因を調査し、原因を取り除く方法を考え、仲間と呼びかけて取り組んでいくプロジェクトチームを構成します！

各クラス2～3名の生徒を募集します！

世界基準に挑戦しようと思う生徒は、担任の先生に申し出て下さい！

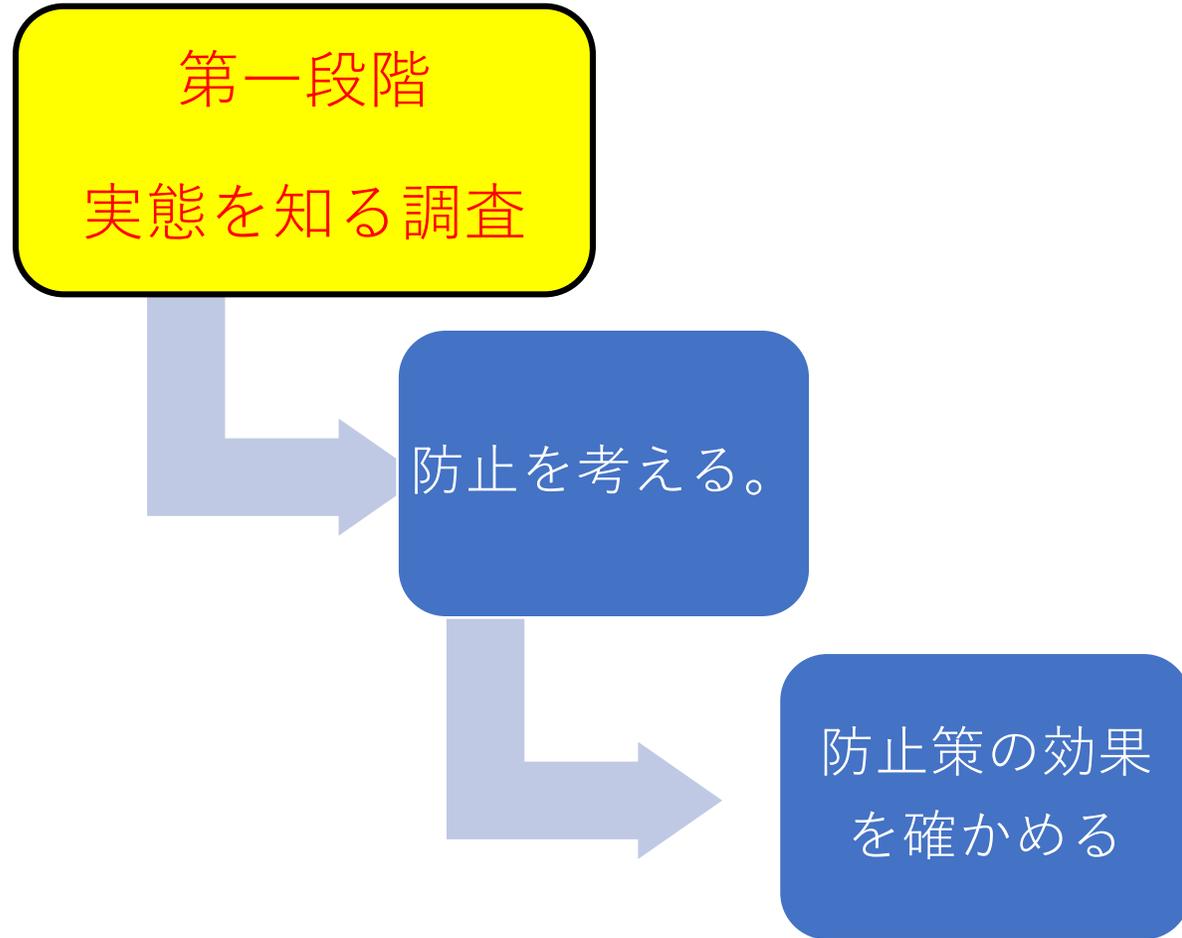


都留二中のISSプロジェクトチーム



夏休みのケガ、危険体験などの体験・目撃情報調査

この夏休みのISSプロジェクトチームからのお願い



校長先生を先頭にISSプロジェクトチームは、この二中を「より安全で安心な学校」にするために取り組むことを世界に向かって宣言しました。

より安全で安心な学校づくりをどこから始めればよいのか、プロジェクトチームで意見を出し合った結果、まずは全校に対して実態調査を行おうということになりました。

そこで実態調査で何を確かめたいかをロイロノートを使ってメンバーで意見を出し合いました。そして、次の項目について全校に回答してもらい、その上で具体的な対策を考えようと思います。

I・「校内の安全・安心」について。

- ①教室内の過ごし方、物の置き方調査。
- ②校内（含む教室）でのヒヤット（危険）体験、目撃調査（場所や時間も含めて）。
- ③実際のケガ発生状況調査・目撃調査。
- ④校内の危険箇所だと考えられる場所調査。

II・「校外の安全・安心」について。

- ①通学方法。
- ②ヒヤット（危険）体験、目撃調査（場所や時間も含めて）。
- ③交通ルール調査（ヘルメット着用など自分や周りの人も含めて）。
- ④公共のマナーに反する行動の目撃などの実態調査。

III・「こころの安全・安心」について。

- ①悩み不安の有無の調査。
- ②いじめ、悪口、いやがらせ、からかい、いやなこと体験、目撃調査。
- ③その具体例。
- ④相談出来る人の有無調査。

夏休みに全校生徒に協力してほしいこと（お願い）

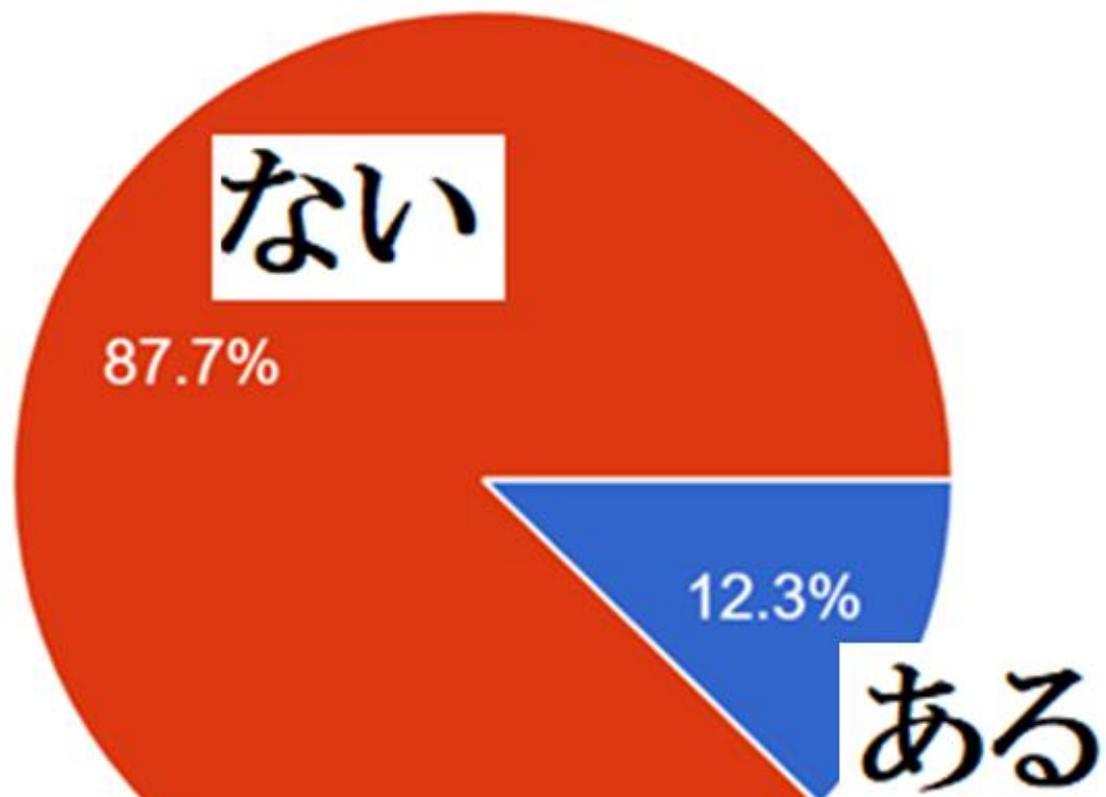
次のQRコードをタブレットで呼び込んで、上の3つの項目についての23の質問に答えてください。

締め切りは8月21日（月）です。

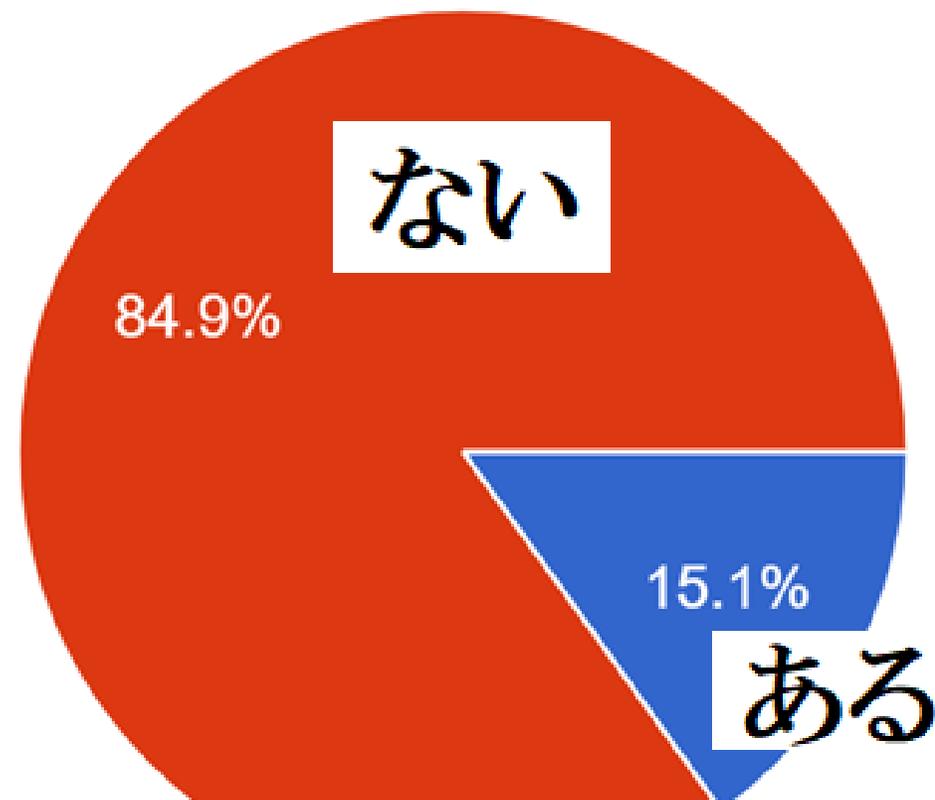


ぜひ、より安全で安心な都留二中を築くために、これからの都留二中に入学してくる未来の二中生のために、ご協力をお願いします。

交通ルール・マナー違反の目撃



交通ルール・マナー違反の体験



残念なことに目撃・体験ともに0%ではありませんでした。

目撃された、してしまった交通違反！ 学園祭での再現劇と調査結果発表の場面



2023年度 都留二中オリジナル・ハザードマップ

ISSプロジェクトチームからのお知らせ → 保護者・地域へも発信

第1回、避難訓練のWEB振り返りアンケートの際に、みなさんが教えてくれた大地震や大雨などの災害時に危険だと思われる場所、日常の登下校や生活の中で気を付けたほうが良いと思われる場所をWEB（グーグルアース）に1のマークでアップしました。

2年生の〇〇さんや□□さんが危険箇所の詳細を聞き取る調査を行い、災害だけでなく、日常生活、登下校時などにも「安全・安心」のために注意した方が良いと思われる場所を明らかにしてくれました。

QRコードをタブレットやスマートフォンなどで読み取ってもらうとグーグルアースの「二中ハザード（災害）&危険箇所マップ」にアクセスできます。

ぜひ、一度アクセスして自分の家の周りや通学路などの危険と思われる箇所の確認をしてみてください。

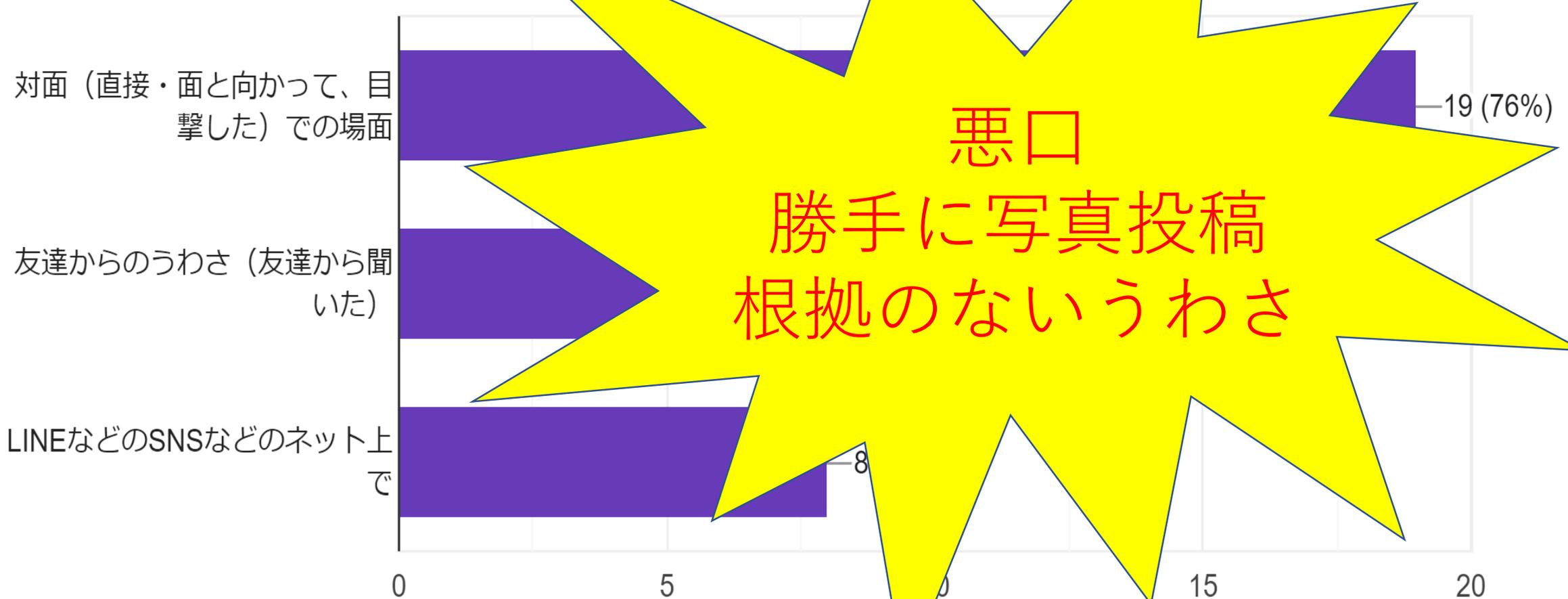
このマップは今後もみなさんから情報を寄せていただき、随時、更新してより有意義なマップに進化させ、都留二中の「安全・安心」のために活用してもらいたいと思います。



心が苦しくなった経験、それはどんな時？

⑱ それはどのような場面でのことですか？

25件の回答



クラスの中の苦しい思いをしている人に
気付いていますか。



**ISSプロジェクトチームは
安心して相談できる方法
こころを打ち明けられる仕
組みが必要。
こうしたことにも取り組ん
で来ました。**

「こころもよう」「こころのつぶやく」 WEB（ロイロノート）を活用した相談窓口

The screenshot displays the Royoro Note web application interface. The main content area is a large light blue box with the following text:

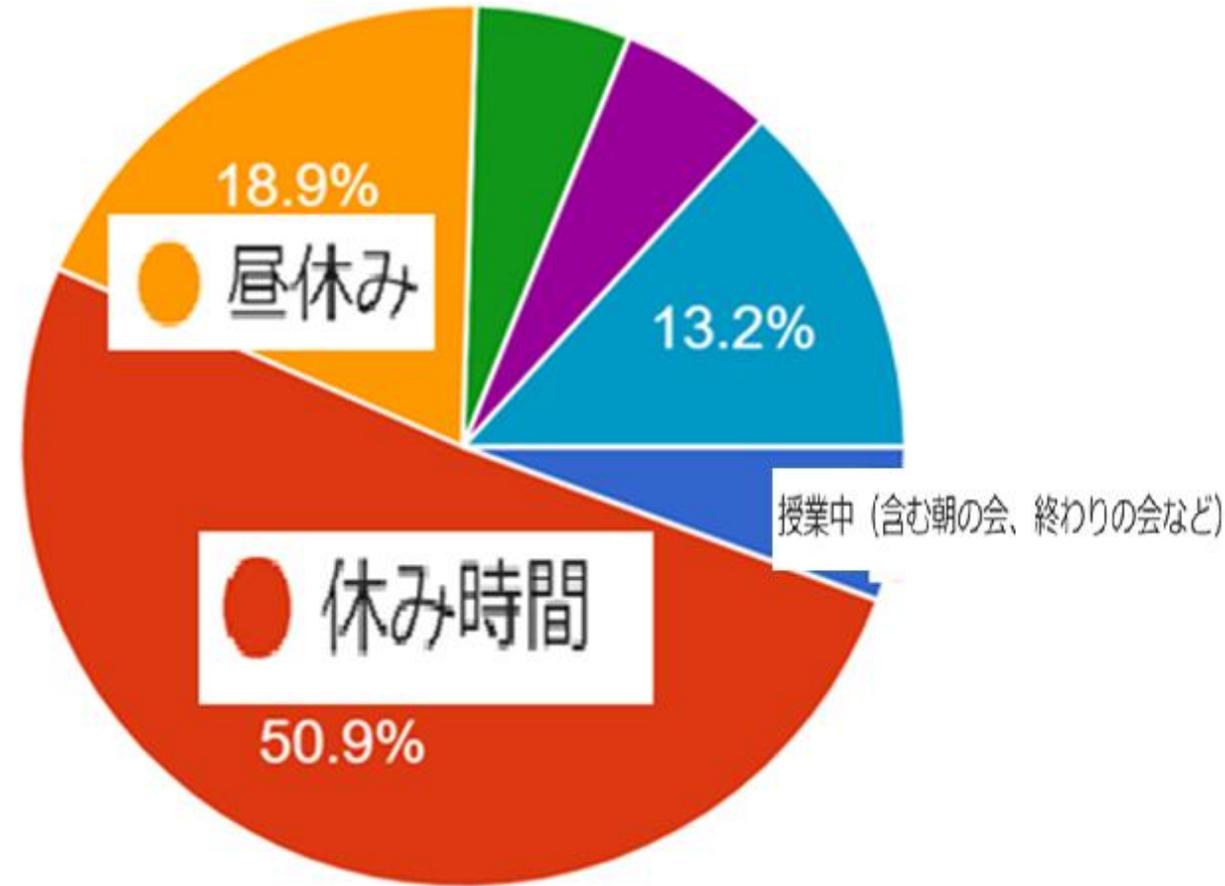
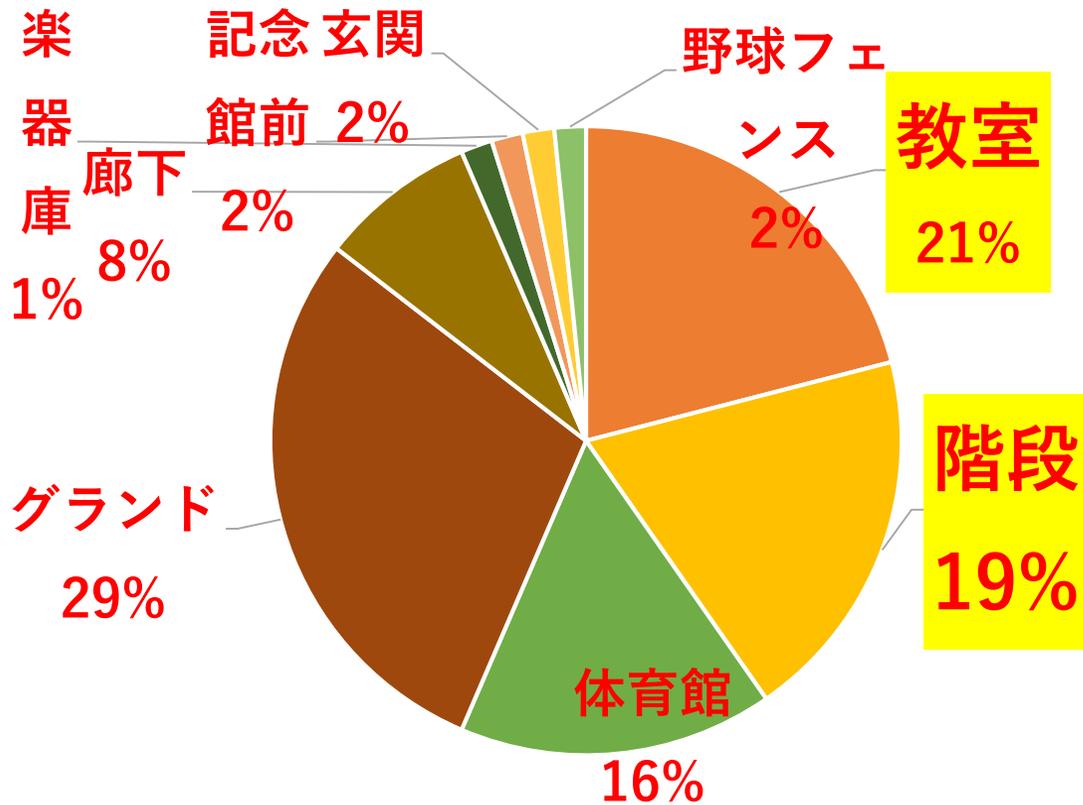
今、悩んでいること、不安に思っていること、心が苦しいと感じていることを教えて。(記入後は提出BOX「こころのつぶやく」に入れてください。他の人は見ることは出来ません。)

The interface includes a top navigation bar with the title "ロイロノート・スクール - こころのつぶやく こころのつぶやく" and a search icon. On the left side, there is a vertical toolbar with icons for "戻る" (Back), "カメラ" (Camera), "テキスト" (Text), "Web", "ファイル" (File), "シンキングツール" (Thinking Tool), and "テスト" (Test). Below the toolbar are three circular icons labeled "資料箱" (Resource Box), "提出" (Submit), and "送る" (Send). The bottom of the screen shows a Windows taskbar with the search bar, system tray, and taskbar icons. The system tray shows the time "21:02" and date "2023/10/31".

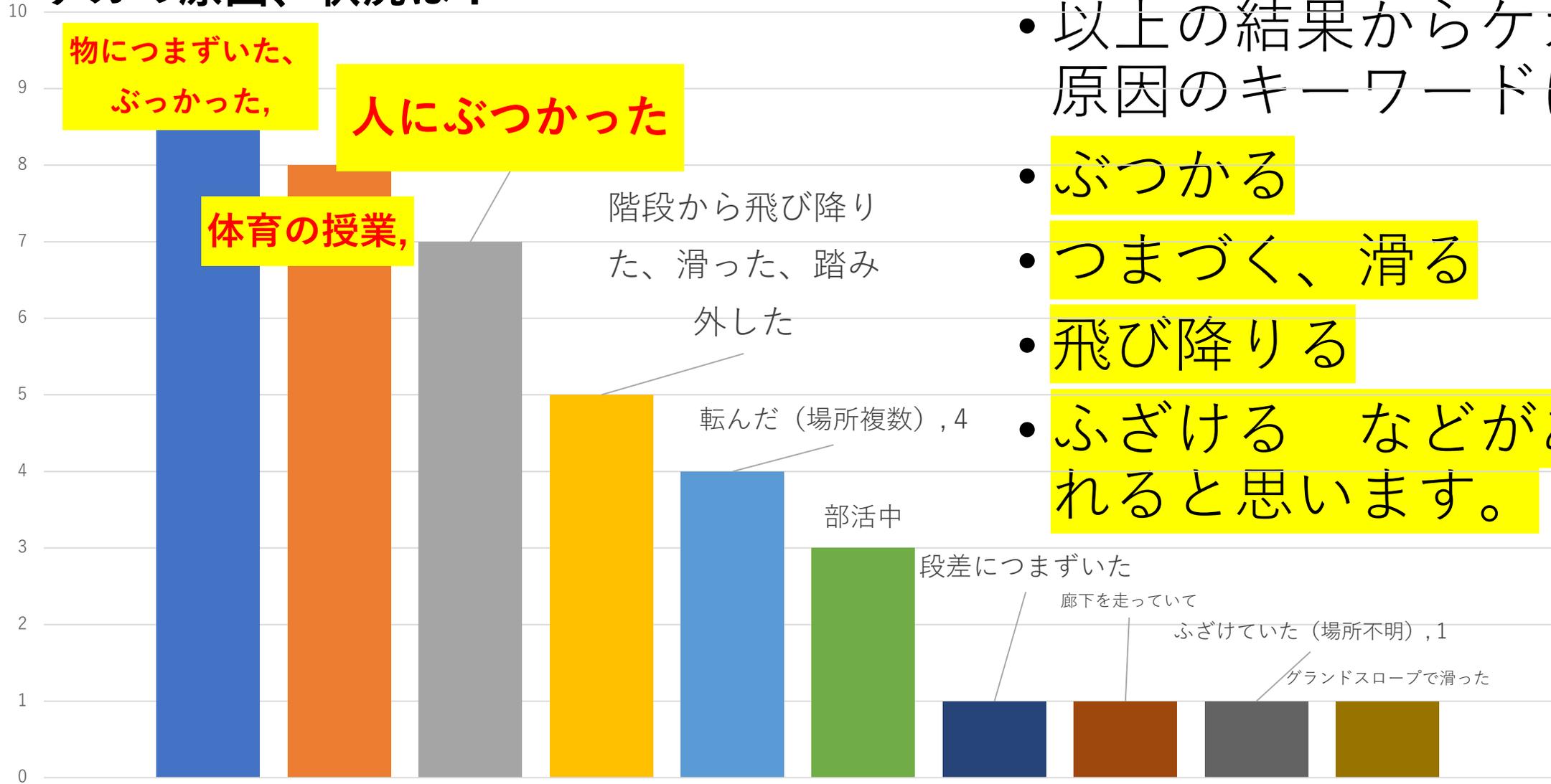
調査結果から分かったこと

ケガの発生場所 教室・階段など

休み時間にケガ発生率が高い



ケガの原因、状況は？



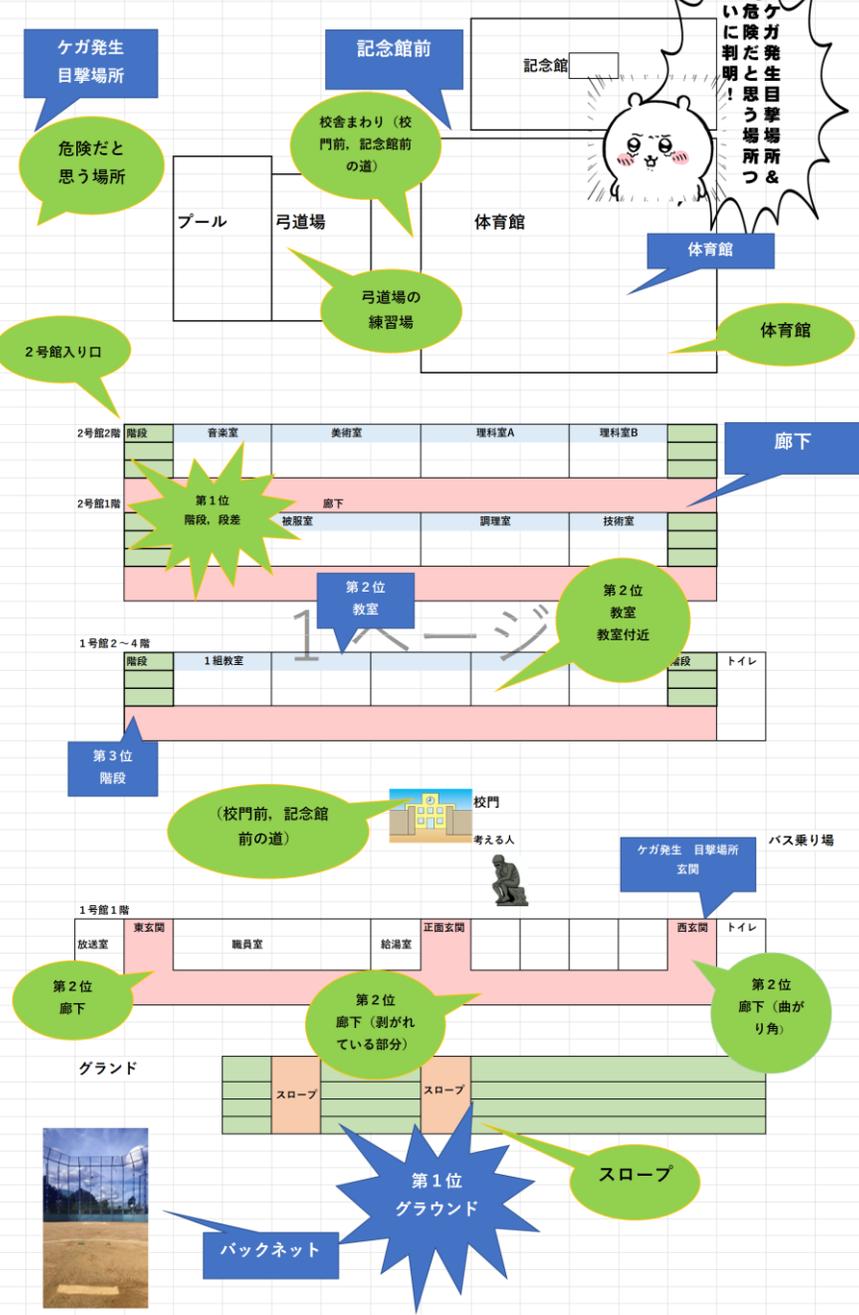
• 以上の結果からケガ発生原因のキーワードは

• ぶつかる

• つまづく、滑る

• 飛び降りる

• ふざける などがあげられると思います。



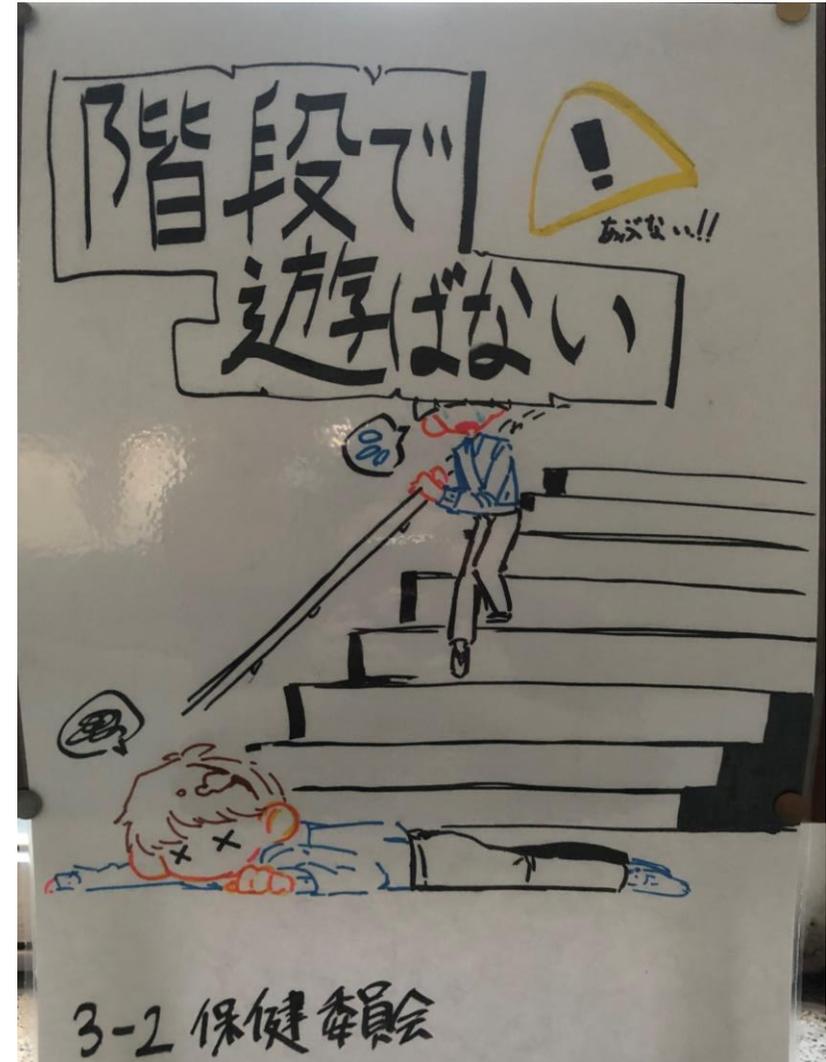
これからのISSの取り組み

ロイロノートを活用して意見を出し合う。

提出順▼ 回答を隠す 回答共有中 一括返却

<p>校内の安全・安心チーム用 前田 琉騎 配付資料を見て、どこにどのような対策をすれば良いと思うのか？ そのアイデアを記入して9月29日（金）までに提出</p> <p>会議の時にもあったようにマークを作るのは良い考えだと思います</p> <p>危険 こんな感じでどうでしょうか もっと目立たせる色でもよいかとは思いますが</p> <p>9月15日 09:40</p>	<p>校内の安全・安心チーム用 井上 稜 配付資料を見て、どこにどのような対策をすれば良いと思うのか？ そのアイデアを記入して9月29日（金）までに提出</p> <p>危険だと調査されたところに！危険と書いたりなど対策をすれば良いと思います</p> <p>9月26日 13:09</p>	<p>清水 郁斗</p> <p>校内の安全・安心チーム用 配付資料を見て、どこにどのような対策をすれば良いと思うのか？ そのアイデアを記入して9月29日（金）までに提出</p> <p>① 段差が分かりやすくなるようにテープで色を付ける。 ② ポスターを使って危険箇所をみんなに知らせる。</p> <p>9月26日 19:24</p>	<p>校内の安全・安心チーム用 増本 翔太 配付資料を見て、どこにどのような対策をすれば良いと思うのか？ そのアイデアを記入して9月29日（金）までに提出</p> <p>① 段差が分かりやすくなるようにテープで色を付ける。 ② ポスターを使って危険箇所をみんなに知らせる。</p> <p>9月27日 12:35</p>
<p>校内の安全・安心チーム用 清水 大愛 配付資料を見て、どこにどのような対策をすれば良いと思うのか？ そのアイデアを記入して9月29日（金）までに提出</p> <p>廊下の端などにポスターをはる横のようにすれば走る人は少なくなると思う</p> <p>危険</p> <p>9月29日 21:27</p>	<p>野澤 鳳太</p> <p>校内の安全・安心チーム用 配付資料を見て、どこにどのような対策をすれば良いと思うのか？ そのアイデアを記入して9月29日（金）までに提出</p> <p>廊下やトイレ前などの人が集まる所に注意喚起のポスターを作って貼る</p> <p>10月18日 15:24</p>	<p>石井 大樹</p> <p>校内の安全・安心チーム用 配付資料を見て、どこにどのような対策をすれば良いと思うのか？ そのアイデアを記入して9月29日（金）までに提出</p> <p>廊下が右側or左側通行なのかしっかり決め徹底する。ISSが生徒会、生活委員会、学年委員会などと連携をして、呼びかける 掃除担当の人は、水回りが濡らないようにしっかり拭く ロッカーには、物が少しでも出ないように囲いをするといのか？</p> <p>10月23日 20:04</p>	<p>校内の安全・安心チーム用 渡邊 功資 配付資料を見て、どこにどのような対策をすれば良いと思うのか？ そのアイデアを記入して9月29日（金）までに提出</p> <p>①一目で危ないところが分かるようにピクトグラムで危険箇所を表示する</p> <p>危険</p> <p>②乗車を高めるために標語を募集する！優秀作品を選び、表彰！その作品は校内に掲示、学校のホームページに掲載する。 例「けけんだよ！足を強くな！階段の最後の一歩まで」 ③階段の曲がり（廊下）の床に右側通行の→を強く</p> <p>9月15日 16:18</p>
<p>校内の安全・安心チーム用 キトス 海翔 配付資料を見て、どこにどのような対策をすれば良いと思うのか？ そのアイデアを記入して9月29日（金）までに提出</p> <p>・ポスター（怪我や事故の多発地点に警告する）を見やすい場所に貼る。 ・時間意識を高め、進長やISSメンバーなどが呼びかけをしたり、まわりの人に協力してもらって雰囲気作りをし、時間に遅れそうになり、走りたりすることを防ぐ。（チャイムを5分まえ</p> <p>9月29日 08:33</p>	<p>校内の安全・安心チーム用 舟久保 佐羽 配付資料を見て、どこにどのような対策をすれば良いと思うのか？ そのアイデアを記入して9月29日（金）までに提出</p> <p>「階段の段差を分かりやすくする」 蛍光色を使って分かりやすくする</p> <p>9月29日 10:48</p>	<p>校外の安全・安心チーム用 佐藤 大栄 配付資料を見て、どこにどのような対策をすれば良いと思うのか？ そのアイデアを記入して9月29日（金）までに提出</p> <p>「階段の段差を分かりやすくする」 蛍光色を使って分かりやすくする</p> <p>9月29日 21:14</p>	<p>小林 美波</p>

保健委員会のケガ予防の取り組み 2024



2023年度 避難訓練後のWEB振り返りアンケート

【振り返り】（アンケート内容）：回答数 258名

質問1. 今回の避難訓練で、周囲の生徒たちの訓練に臨む姿をどのように評価しますか。

質問2. No.1の評価理由

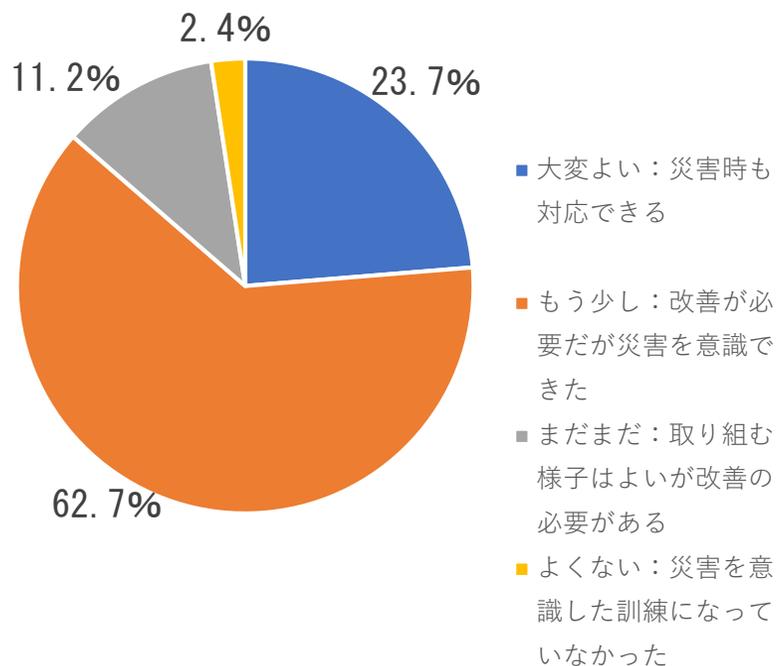
質問3. もし実際に災害が起きた場合、どんなことを大事に行動することが自分の「命」を守ることになると考えますか。

質問4. 家から学校までの通学路において、災害が起きたときに危険だと予想できる場所がありますか。

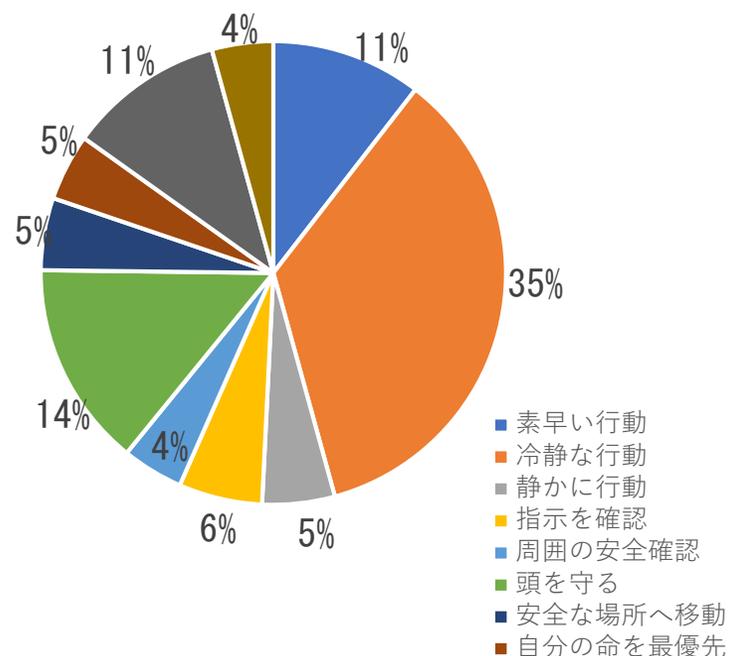
質問5. 危険だと想定する理由

質問6. 災害が起きたとき、あなたが地域住民の一人として他の人々と協力して何ができると考えますか。

1. 訓練に臨む姿



3. 自分の命を守るために



4. 通学路における災害時に危険と思われる箇所

(42人回答)

1	斜面土砂崩れの危険性	14
2	河川氾濫の危険性	13
3	道に面しているブロック塀倒壊の危険性	3
4	台風時等の倒木の危険性	2
5	建物倒壊の危険性	3
6	その他(道路・交通機関等)	7

2023年度 第2回避難訓練（地震時）を考える ～その時、あなたは～(WEB配信)→保護者・地域へ



第2回避難訓練振り返り映像（ISSニュース）

「その時、あなたはどこにいましたか」

- ①教室 ②廊下 ③グラウンド ④トイレ
 - ⑤渡り廊下 ⑥階段
- 地震は、私たちがいる場所を選ばずにやってくる！

「その時、あなたはどのような行動をとりましたか」

- ①机の下にもぐった ②姿勢を低くした
- ◎窓から離れたというのはとても正しい行動です。
▼うろうろするだけで、何もできなかったという人もいた
・グラウンドやトイレにいた人たちが、姿勢を低くすることはしても、しっかり頭を守る体制は取れていなかったようです。
・地震発生時においては、しゃがむだけでなく、四つん這いになってしっかり頭を守る（シェイクアウト）必要があります。
▼グラウンドやトイレにいた人たちの中に、「机の下にもぐった」と回答している人がいます。近くの教室に入ってしまったようです。→どうしてよいかわからずに、いつもの避難訓練のような行動をとってしまったのでしょうか。

「訓練において、より実践的な判断力を普段から身に付けておくことが重要！」

【評価】

- ◎第1回避難訓練の振り返りで明らかになった各クラスの課題を意識して行動できたと回答している人→99%
- ▼今後も、より正しい判断ができるように、命を守るということを真剣に考えていく必要がある。

改善すべき点

- ・慌ててしまった 9
- ・おしゃべりしてしまった 68
- ・避難に時間がかかってしまった 21
- ・訓練放送が聞こえなかった 12
(トイレや校庭)
- ・適切な行動がとれなかった 9
- ・防災頭巾を忘れた 3



災害時には、放送がない・情報がない場面が多く、自分で命を守るための判断をしなければならない

改善すべき具体的行動

- ・周囲を確認せず、窓の近くへ行ってしまった
- ・廊下から直接避難せずに、頭巾を取りに教室へ戻ってしまった
- ・机の脚をつかまなかった
- ・自ら考えた避難行動がとれなかった
- ・慌てて走って避難してしまった
- ・必要がないことをしゃべってしまった
- ・体育館に避難したら、気持ち緩んでしまった
- ・即座に頭を守る行動がとれなかった

地震時に、建物の中に戻るのは大変危険な行動と言える。「お・か・し・も」の意味をしっかりと理解し、正しい行動がとれるようにしましょう。

2 0 2 2 \Rightarrow 2 0 2 3 の変化

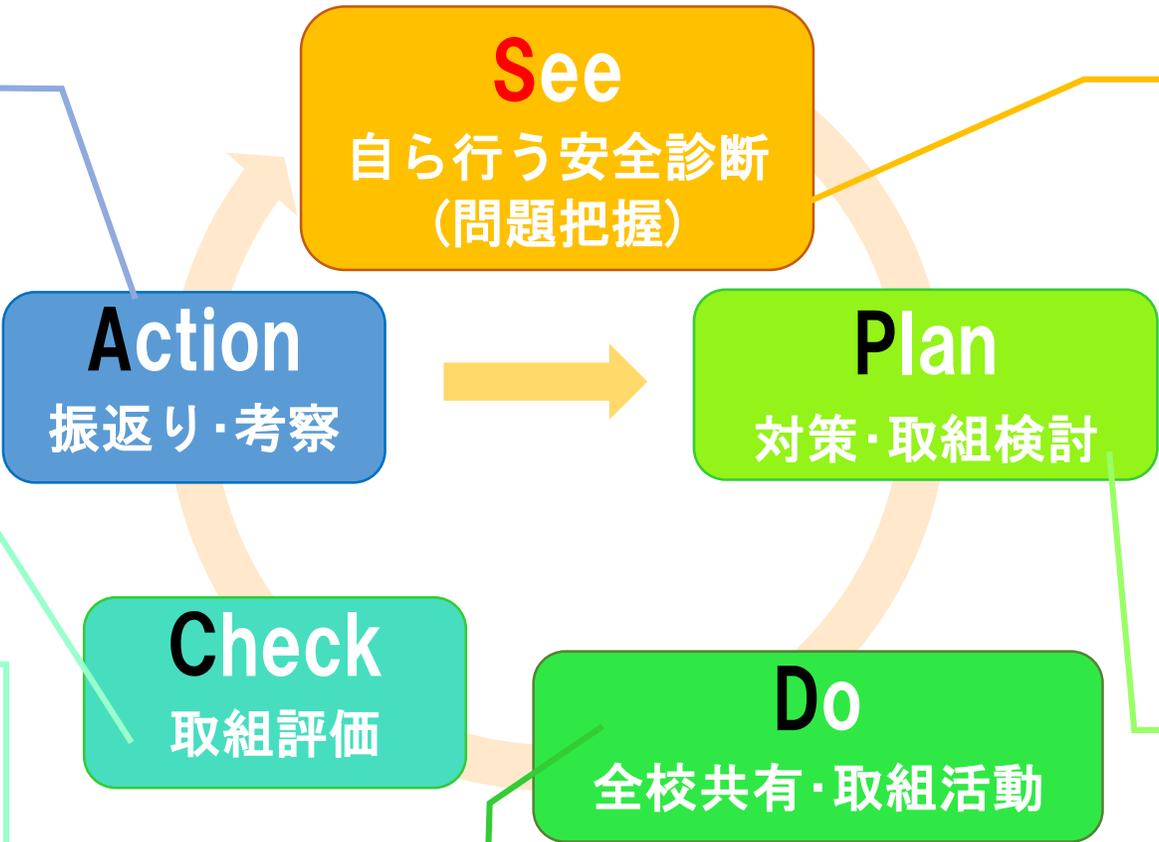
506



3 8 2

[取組内容や方法を振り返り，結果を考察して，新たな課題を見出す]

[取り組んだ結果を評価し，全校で共有する]



See
自ら行う安全診断
(問題把握)

Action
振り返り・考察

Plan
対策・取組検討

Check
取組評価

Do
全校共有・取組活動

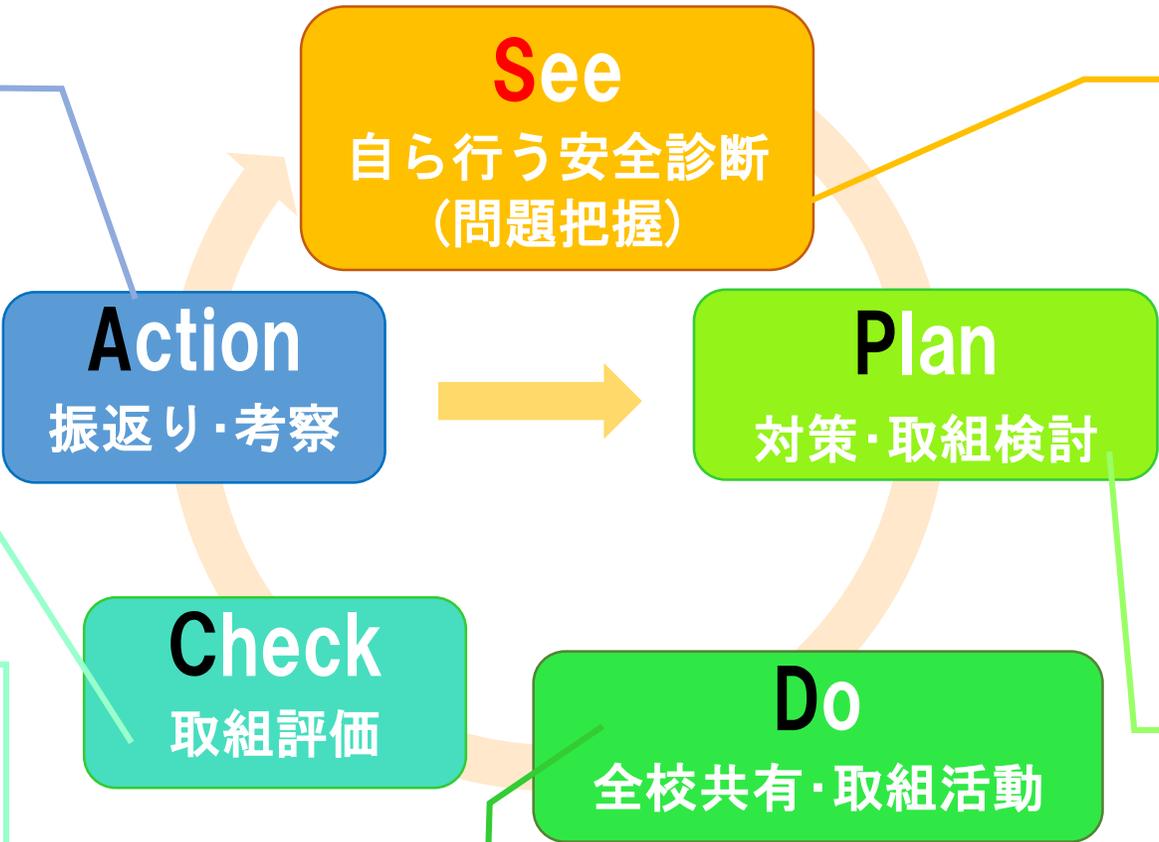
- ① 言葉づかいなど生活の中で相手を傷つける言葉が使われている。
- ② 不安な感情や思いをなかなか表現できていない。

- ① 言葉づかいに対する意識が弱い。
- ② 『心もよう』の活用がまだまだ足りない。

①・②⇒動画やポスターなどを使って、不安を抱える内容についてそれを表現できるような啓発活動を行う。

[取組内容や方法を振り返り，結果を考察して，新たな課題を見出す]

[取り組んだ結果を評価し，全校で共有する]



See
自ら行う安全診断
(問題把握)

Plan
対策・取組検討

Do
全校共有・取組活動

Check
取組評価

Action
振り返り・考察

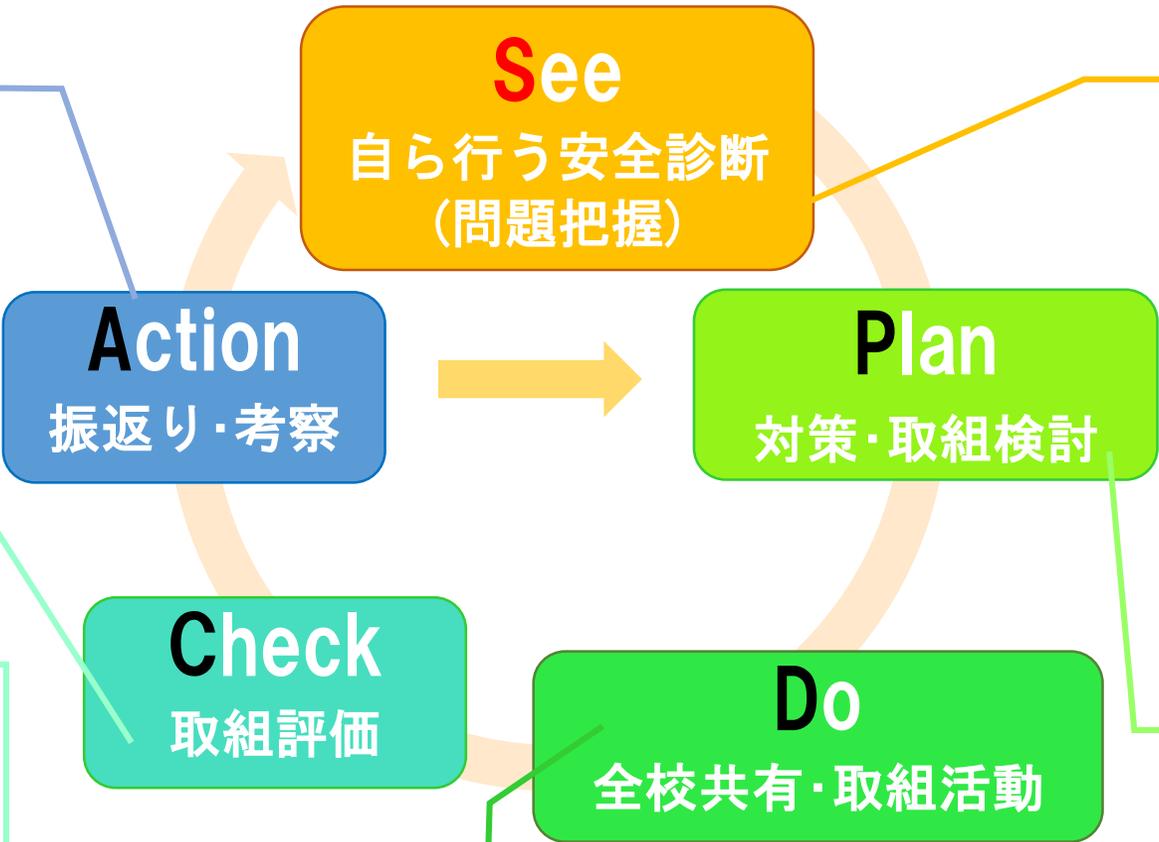
①学校外での交通ルールやマナーを守れない人がいる。
②それによって地域の人に迷惑をかけてしまう場面がある。
③登下校の場面でも危険な箇所がある。

①二中ハザードマップの更新
②注意を促すための動画作成
③自転車の乗り方についての啓発

①ISSを中心として家の周りの危険箇所についてアンケートを取る。
②・③ 朝の会、帰りの会を使った注意を促す動画や学園祭の劇などでの啓発 外部の協力 (講習会)

[取組内容や方法を振り返り，結果を考察して，新たな課題を見出す]

[取り組んだ結果を評価し，全校で共有する]



教室や廊下での過ごし方で、みんなが落ち着いて生活できているわけではない。減ってきてはいるものの、階段や教室でのケガはまだまだある

①学校内でのケガを予防するポスター作りや、学校内での危険を知らせる表示作成を行う。

②グラウンド内でのケガを防ぐためにグラウンドの石を拾う活動などを行う。

①ロイロノートなどを使ってのアンケート調査でより実態を明らかにする。

②教室、階段、ものの使い方について啓発を行う。